

# ショートフィルム

区内の身近な街並みを、映像を通して表現することで、区のまちづくりに参加しよう」と結成された「ショートフィルム」。

「自分たちで何かまちづくりに役立つ活動が出来ないだろうか」と考え、短編映画（ショートフィルム）の製作を思い立ちました」と代表の木谷清子さんは話します。

そして、出来上がった作品の一つ「足音を探して」は、久しぶりに故郷に戻ってきた初老の男性の視線を通して、思い出の場所（イチヨウの木）を探し歩くストーリーです。音楽だけが静かに流れ、区内のいろいろなまちの表情を映し出しています。映像を担当している小野寺圭介さんは、北海学園大学に通う学生で、「セリフなしで、観る人に感情移入させられるように、そ

して、映画の空間と現実の空間に一体感が生まれるように作りました」と作品に対する思いを語ります。

また、もう一つの作品「並木道」は、東月寒にある八幡学園のポプラ並木を舞台にしたファンタジー仕立てのドラマです。悪天候の合間を縫ってロケが進められるなど、制作に4カ月を要したという力作です。

小野寺さんたちは、「これから、さわやかな風が吹くような映像づくりを目指します」と抱負を語ってくれました。



▲自作「並木道」のワンシーンをバックに、木谷さん(右)と小野寺さん

「足音を探して」「並木道」の鑑賞を希望する方に、ビデオテープを貸し出します。  
(詳細) 区役所総務企画課広聴係 ☎(822)2400 内線214・215

「お話の会草の美」は、美園地区を中心に、絵本の読み聞かせや、大型紙芝居などを行っているグループです。平成九年から活動しており、当時美園小学校に通っていた児童のお母さんたちで結成されました。主に、同校体育館の土曜開放の際に読み聞かせを行っていましたが、土曜開放がなくなつた現在は、児童会館や、地域の行事などで活動しています。

代表の田中園子さんは、「メンバーみんなで負担していた、紙芝居やパネルシアターの材料費、絵本代に思い応募しました」と応募のきっかけを話します。メンバー全員が家庭の主婦ということもあり、活動資金の助成制度はともありがたいとのこと。助成金で作つた新しい紙芝居やパネルシアターで

レパートリーが増え、集まつた子供たちの年齢に応じて、出し物にも変化をつけやすくなつたそうです。

「たくさん材料をそろえることができました。有意義に活用させていただいてます」というのはメンバーの皆さんの明るい声。目下の悩みは、「準備のための時間と場所の確保がなかなか難しいこと」と、メンバーが足りないこと」と話していました。

絵本の世界を無邪気に楽しんで、「また来てね」と笑顔で手を振ってくれる子供たちとの出会いが、何よりも楽しみと語るメンバーの皆さんです。



▲子供たちも大喜び



▲出前が顔みねのねずみ手形シアター(手作りする田中さん)

## まなびひろい活動に参加しきよー！

豊平区では、平成十四年度も、まちづくりスタート支援助成金の助成希望団体を募集します。詳細については、本誌豊平区版で追ってお知らせします。

(問合せ) 区役所総務企画課 企画調整担当 ☎(822)2400 内線203・204

まちづくり活動に参加しているグループに共通していることは、自分たちでできることを、無理なく、そして、何よりも心から楽しんで活動していることです。

私たちが住むまちを、より住みよいまちにするためには、皆さんの自主的な活動がとても大切になってきます。そして、それらの活動を区が支援していくことで、区民の皆さんと行政との「パートナーシップ」によるまちづくりが実現していくのです。

もう間もなく春がやってきます。魅力あふれる豊平区づくりのために、あなたも行動を起こしてみませんか。